

健康食品に含まれる医薬品成分とは？

近年、食生活の多様化や健康志向の高まりとともに、健康食品を利用する人が増えており、スーパーやドラッグストアの店頭、インターネット等の通信販売などには数え切れないほど多くの種類の健康食品が流通しています。

健康食品は、医薬品と違い病気の治療や予防を目的としたものではなく、一部の食品を除いて医薬品のように「血圧を下げる」や「血糖値を下げる」などの効能・効果をうたうことはできません。また、もちろん医薬品成分を含むことも許可されていません。しかし中には、医薬品的効能・効果を標榜し、医薬品成分を無許可で配合し、知らずに摂取した人の健康に悪影響を与えるような商品を健康食品として販売している事例（これらの商品を無承認無許可医薬品と言います）があります。これまでに、中国製ダイエット用健康食品（無承認無許可医薬品）45製品で約800人が死亡又は肝臓や甲状腺などに重篤な健康被害が発生するという事件がありました。これを受け、無承認無許可医薬品の取締りを強化していますが、その後も無承認無許可医薬品による健康被害が発生しているというのが現状です。

当所では、無承認無許可医薬品による健康被害を未然に防止あるいは拡大を防止するため、県が策定した「医薬品類似商品試買検査実施要領」に基づいて市場に流通する健康食品の試買検査を平成19年度から行っています。検査には、液体クロマトグラ



写真1 液体クロマトグラフ質量分析装置

フ質量分析装置（写真1）という、多成分を一斉にかつ微量で検出できる高精度の分析装置を用いています。

表1 当所の5年間の検査件数（検査項目数はのべ数）

検体の種類		H23	H22	H21	H20	H19
強壯薬	検体数	13		10		
	検査項目数	312		180		
痩身薬	検体数				7	10
	検査項目数				161	90
糖尿病治療薬	検体数		13			
	検査項目数		156			
合計	検体数	13	13	10	7	10
	検査項目数	312	156	180	161	90
	違反検体数	0	0	0	0	0

前述の健康被害が発生した中国製ダイエット用健康食品からは、痩身薬が検出され健康被害も多数であることから、平成19年度は痩身薬の分析法の構築と検査を行い、翌年度には検査項目を拡充（9項目→23項目）して検査を実施しました。平成21年度は、痩身薬と並んで多く検出されている強壯薬（18項目）、平成22年度は糖尿病治療薬（13項目）についての分析法を構築し検査を行いました。また、平成23年度には強壯薬の検査項目をさらに拡充（18→24項目）しました。これまで5年間の検査で、無承認無許可医薬品が検出された事例はありませんでした。（表1）

現在流通している健康食品の中には、健康に悪影響を与える無承認無許可医薬品がまだまだ潜んでいる可能性があります。今後とも健康食品の検査を行い、無承認無許可医薬品を含む健康食品の流通を防止し、県民の健康被害を防止するためにも分析法の充実を図っていきます。

（疋田晃典 kanken-shokuhin@pref.nagano.lg.jp）